

第7回「ハイ・サービス日本300選」受賞企業・団体発表について  
～10月29日(木)11:00より表彰式を開催～

<第7回として27事例を選定>

サービス産業生産性協議会では、イノベーションや生産性向上に役立つ先進的な取り組み(ベストプラクティス)の表彰・公表を通じ、企業の一層の取り組みを喚起し優良事例を広く普及・共有することで、サービス産業全体のイノベーションや生産性向上に努めるために「ハイ・サービス日本300選」を実施しています。このたび、第7回表彰として27の企業・団体を別紙の通り決定しました。いずれの企業・団体もチャレンジ精神を持ち、創意と工夫でイノベーションと生産性向上を実現しています。

これらの取組をご紹介します機会として、10月29日(木)11:00より、KKRホテル東京(千代田区・竹橋)において表彰式を開催いたします。是非とも取材にお越しく下さい。

<選定委員(プレゼンター:予定)>

委員長 村上輝康 野村総合研究所シニア・フェロー

委員 伊藤元重 東京大学大学院教授 / 小林英俊 日本交通公社常務理事 / 野原佐和子 イシ・マーケティング研究所代表  
橋本和仁 東京大学大学院教授 / 藤川佳則 一橋大学大学院准教授 / 藤沢久美 ソフィアバンク副代表

事例 <株式会社 星野リゾート>

**サービスの質と生産性の向上を両立させ、さまざまなホテル・旅館を再生**

バブル崩壊後の業界低迷、リゾート法の改正などに危機感を覚え、1995年、事業内容をリゾート運営業に特化。顧客満足度調査の結果を重視したサービス提供を実施するとともに、従業員のモチベーション向上・労働生産性を向上させる諸施策を導入し、経営破綻した多数のホテル・リゾートの再生・黒字化に成功している。



山梨県にあるリゾートは再生運営開始3年目で黒字化、4年目には経常利益8,000万円を計上するV字回復を達成。



「全国模擬授業大会」を開催し、競合塾が互いの指導法を競い合うことで、講師のモチベーションがアップ

事例 <株式会社 開倫塾>

**ベンチマーキングを通じたカリキュラム・講師のレベル向上により、  
学習塾として質の高い教育サービスを提供**

経営品質向上活動に取り組み、社内ベストプラクティス、同業他社、異業種それぞれのベンチマークを行い、自社のサービスレベルおよびベストのサービスレベルを知り、PDCAサイクルによってより良いサービスの提供を徹底している。

添付資料

1. 「ハイ・サービス日本300選」について
2. 「ハイ・サービス日本300選」第7回受賞企業・団体
3. 「ハイ・サービス日本300選」第7回受賞企業・団体プロフィール

サービス産業生産性協議会(代表幹事:牛尾治朗・ウシオ電機(株)代表取締役会長)は、サービス産業のイノベーションや生産性向上に向けた国民運動を展開する母体として、産業界、大学関係者、関係省庁などの幅広い参加のもと、平成19年5月10日に設立されました。

【お問合せ先】 サービス産業生産性協議会事務局(担当:下村、齋藤、山野)  
〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-15 愛光ビル8F(財)日本生産性本部内)  
tel:03(5251)3841 fax:03(3593)8450 <http://www.service-js.jp> Mail:M.Shimomura@jpc-net.jp